

旧中頭病院への移転計画について



旧中頭病院への移転が迫ってきました。

改修工事や保健所の手続きの関係で未確定ですが、来年の1月8日をめざして取り組んでいます。約2年間にわたる新病院建設計画は、吉原公園の建設と病院移転、新築建設から新病院への移転そして開院と今までに例のない事業です。

さらに移転後は、病棟を現在の2病棟から3病棟へ再編成します。これは、医療法で病棟は60床までと決められており、2病棟のままだと増床が認められた際に6床しか増やせないからです。3病棟にすることにより、最大66床増やすことができます。また、広さを活かして地域包括ケア病床の増床も可能となるため、より地域に密着した医療や介護を提供できるようになります。

美里地域にお住まいの方や徒歩で来院されている方は、継続して通院できるようにシャトルバスを運行予定ですので、ぜひご利用ください。

一時移転中は

シャトルバスの運行を予定

しております。

午前 8:00から20分おきに出発 最終は12:00発まで

午後 13:00から30分おきに出発 最終は16:30発まで

出発 現中部協同病院
(美里)



到着 旧中頭病院
(知花)



(事務次長
平良 雄一郎)

医療的ケア教員講習会を受講して

職員及び医療生協組合員の皆様こんにちは！中部協同病院通所リハビリ室の名嘉靖と申します。

2016年7月20日に沖縄県青年会館会議室において医療的ケア教員講習会(①制度の概要②医療的ケアの基礎③喀痰吸引④経管栄養⑤演習)を受講してきました。2012年に社会福祉士、介護福祉士法の改正により資格を持った方が施設において喀痰吸引、経管栄養の注入等、これまで看護師が行ってきた処置を行えるようになるという法律が制定されました。看護師資格者が講習を受講した後にその指導看護師となり講習が行えるようになるというものです。看護師の手の届かないところでの需要があり施されています。喀痰吸引と経管栄養の注入というのは日常生活においてセルフケアが全介助の方々に対して行わなければならない大切な行為です。今後社会福祉士、介護福祉士の方々の奮闘が期待されます。

(通所リハビリ室)

看護師 名嘉靖



「ファーストレベル研修」を受講して

この度、7月5日から8月17日まで日本看護協会の定める認定看護管理者研修のファーストレベル研修を受講する機会に恵まれました。沖縄県・離島も含めて看護師長、看護主任、看護副主任など60名が受講していました。開講当初は、不安感と研修を現場に活かせるという期待感が交差して緊張していました。しかし、著明な講師の方々からチーム医療における看護の専門性など、看護サービス論・人材育成論・グループマネジメント論などの最新かつ豊富な内容を学び知識を得るにつれて、不安から楽しみに変化していききました。單元ごとの課題レポートは大変でしたが、学習内容の振り返りができて実りのある毎日でした。

学習したことが日頃の看護に活かされるように頑張りたいと思います。



(2F病棟 金城 茂夫)

障害予防・内臓調整 勉強会に参加して

先日「障害予防・内臓調整」という勉強会に参加しました。その中から「舌診」というものを紹介したいと思います。舌の状態は臓器を表すと言われ、根本は腎臓、左右は肝臓・胆のう、中央は脾臓・胃、先端は心臓・肺を表すと言われています。その部位につく舌苔の厚さや色で臓器の調子分かるそうです。舌苔が厚い、黒いと症状が重く、黄色は炎症や代謝亢進、白は代謝低下を示すそうです。是非みなさんも日々の体調管理、自身の体と向き合うきっかけに舌を見てみてはいかがでしょうか。

(リハビリ室 作業療法士 田島 英)

中協部署紹介 ～外来～

外来は、看護師16名、応援の看護補助者1名からなっています。

診療科は外科、内科、小児科、週単位の整形、リウマチ外来、血管外科、月単位の泌尿器科、婦人科、乳腺甲状腺外来、心療内科があります。内視鏡、訪問診療、訪問看護、手術室も担当しています。かなり幅広い業務内容ですが、スタッフのチームワークもよく応援体制ができていると思います。

又、外来では高齢者の患者様も多く、目配り、気配りしましょうと朝のミーティングで意思統一し、声のかけやすい雰囲気づくりも大切にしています。今後年明けの旧中頭病院への移転に向けて患者様が安心できるよう声かけをしたいと思いますのでよろしくお願いします。



(外来師長 稲嶺 清美)

本日のレシピ



鮭と玉子の ふわとろ温奴

「低栄養」とは、健康に生きていくうえで必要となる栄養素が十分な量を摂れていない状態を言います。高齢者が低栄養になりやすい理由としては、食欲の低下や消化・吸収能力の低下、噛む力や飲みこむ力の低下などがあげられますが、高齢でのひとり暮らしや夫婦だけの生活など、生活環境や精神面も要因となります。

■低栄養になると認知症リスクが増加

脳のエネルギー源となるのが炭水化物や糖質が消化されてできるブドウ糖。脳はブドウ糖を溜めておくことができませんので、脳へのエネルギー不足が認知機能低下の原因のひとつと考えられています。低栄養による健康問題を予防する観点から「食事は1日3回バランスよくとる」や、敬遠しがちな油脂について敢えて「油脂類が不足しないこと」などがあげられています。

■高齢者の摂取にオススメの油脂類

低栄養のエネルギー補給に最適な中鎖脂肪酸。低栄養からくる認知機能の低下が懸念される高齢者は、食事の品数を増やすなど意識して栄養を摂取するとともに、中鎖脂肪酸（ココナッツオイル・牛乳など）を積極的に摂取することが勧められます。

(居宅支援事業所 又吉 毅実)